

イノベーションの先駆者：

知的財産法における阿部隆徳の先見的なリーダーシップ

阿部弁護士は、ABE & PARTNERS（阿部国際総合法律事務所）のマネージングパートナーとして、日本および国際的な知的財産法分野の先駆者として活躍している。その専門知識、革新的なアプローチ、そして新たな領域を切り拓く情熱により、同事務所は、特に製薬とテクノロジー業界における複雑な法律の分野をナビゲートするリーダーとしての地位を確立した。クリエイティブでクライアントを第一に考えたソリューションを提供するというビジョンを掲げ、阿部弁護士はこの分野の先駆者として、境界を突破し、リーガルイノベーションを牽引する存在として注目されている。

知的財産法に特化した契機

知的財産法の世界に足を踏み入れたきっかけについて尋ねると、阿部弁護士は、多くの法律分野がすでに深く探求されてきた中で、知的財産法は自分にとって「白紙のキャンバス」のように見え、挑戦する余地が十分にあると感じたからだと言った。この考えと国際ビジネス取引への関心とが組み合わさり、阿部弁護士はグローバルなクライアントと関わり、多様な文化に浸りながら、多様な法体系を結び付けるアプローチを確立した。知的財産法への情熱は、そのイノベーションと創造性を形作る可能性、そしてダイナミックで常に進化し続ける性質に由来している。

国際法的案件への独自のアプローチ

ABE & PARTNERS は、特に医薬品とテクノロジー業界における複雑な国際争訟に対処する能力があることで高い評価を受けている。同事務所は、ノーベル賞を受賞した科学者や業界リーダーと協力し、画期的な研究に基づく法的議論を展開している。阿部弁護士は大阪大学大学院医学系研究科の招聘教授も務めており、医薬品特許紛争やバイオテクノロジー特許案件など、高度な科学的・知的財産権問題に対応する同事務所の技術的専門性をさらに充実させている。

その革新的なアプローチは、法的戦略と科学的知見を融合させることで、特許法と最新の科学の両方の専門知識を必要とする非常に複雑な紛争を処理することを可能にしている。法的論点の新たな領域を切り拓くことで、ABE & PARTNERS は最先端の知的財産に関する課題の解決において、キープレイヤーとしての地位を確立している。

訴訟弁護士としての主な実績

阿部弁護士は、キャリアを通じて数多くの画期的な案件を手がけ、卓越した訴訟弁護士としての評価を確立してきた。ABE & PARTNERS の最も注目すべき成果の一つは、日本初の抗体特許侵害訴訟においてバクスアルタ社を代理したことである。

これは、複雑なバイオ医薬品特許紛争を巧みに処理し、高度な法的・技術的論理を構築する同事務所の強みを証明する、先例となる案件であった。

別の特筆すべき成果は、武田薬品工業によるシャイアーの 620 億ドルでの買収案件に携わったことである。これは日本医薬品業界史上最大の M&A 取引であった。ABE & PARTNERS はシャイアーに対し、知的財産デューデリジェンスサービスを提供し、買収した知的財産を武田薬品工業のポートフォリオに円滑に統合する支援を行った。これらの成功により、同事務所の国際的な知的財産デューデリジェンスにおける専門性の高さと、ハイリスクな取引を管理する能力が実証された。

2024 年、ABE & PARTNERS は 4 件の勝訴決定を獲得し、敗訴はゼロという豊作の年となった。特筆すべきは、様々な製薬巨大企業の代理人として勝利を収めたことである。特に、日本の製薬会社の代理人としては、ジカウイルスワクチンに関連するインドの製薬会社の特許請求項をすべて無効とする勝訴審決を獲得した。また、米国の製薬会社を代理し、特許庁の取消理由通知を覆し、特許を請求項の訂正なしに維持した。さらに、バイエル・ヘルスケアとリジェネロン・ファーマシューティカルズの代理人としてサムスン バイオエピスと争った極めて重要な訴訟では、サムスン バイオエピスの不正競争防止法違反の主張を効果的に退けた。これらの訴訟は、注目されているバイオ医薬品であるアイリニアをめぐる、リジェネロン／バイエルとバイオシミラー企業との間の広範なグローバル争訟の一部をなしている。

2つの資格とグローバルな視点

阿部弁護士は、日本とニューヨーク州の 2 つの資格を有し、米国およびドイツでの特許事件に携わった経験も有しており、その経験が彼の法的戦略に大きな影響を与えている。米国では、2 件の陪審裁判を含む地方裁判所での様々な特許事件や、連邦巡回区控訴裁判所および最高裁判所での事件に携わり成功を収めた。ドイツでは、デュッセルドルフ、カールスルーエ、ミュンヘンで事件を担当し、欧米の法制度に関する貴重な知見を蓄積している。

このグローバルな経験により、阿部弁護士は欧米のクライアントの厳格なプロセスを理解し、欧米のトップ弁護士が実務をおこなう様子を観察することができた。日本と国際的な法

的枠組みのギャップを埋める阿部弁護士能力により、ABE & PARTNERS の地位は、日本での代理人を求める欧米企業にとって信頼されるアドバイザーとして確立している。

日本における知的財産法の形成と国際展開

ABE & PARTNERS は、日本およびグローバルな知的財産法の進歩に深くコミットしている。同事務所の戦略は、多くの場合、日本において有利な判決を獲得することと共に、クライアントの幅広い国際的なビジネスゴールと整合することである。クライアントのグローバルな目標を優先することで、知的財産法の形成、判例の確立、イノベーションの推進において極めて重要な役割を果たしている。

また、知的財産法を中核業務としながら、訴訟における専門知識を活用し、他の法律分野でも成功を収めている。ABE & PARTNERS の弁護士は、そのスキルを駆使して、さまざまな法律分野における困難な案件に対応し、クライアントに有利な結果をもたらしている。この多様性は、変化し続ける法律分野に同事務所が適応し、卓越した能力を発揮できていることを示している。

将来のビジョン

阿部弁護士は、今後5年から10年の間にABE & PARTNERS を新たな高みへと導きたいと考えている。目標は、最先端の案件や重要な紛争において成功を収め、新たな法的枠組みの形成に貢献することである。限界に挑戦し、革新的なアプローチを取り入れ続けることで、ABE & PARTNERS は、知的財産法および知的財産訴訟の未来を形作る上で重要な役割を果たす存在となるであろう。

課題を克服する戦略的ソリューション

阿部弁護士は、そのキャリアを通じて、特に製薬特許訴訟において、数多くの課題に直面してきた。これらの案件は、確立された先例がないため、司法判断が大きく分かれることがよくある。しかし、阿部弁護士は、訴訟弁護士としての初期の訓練で、相手側の主張を予測し、効果的な戦略を立て、司法の思考プロセスを理解する能力を身につけていた。

チェスのような数手先を読む能力により、独創的で創造的な、クライアントに最適なソリューションを提供している。ABE & PARTNERS では、こうした戦略により、クライアントの目標を超える成果を達成するだけでなく、リーガルイノベーションを推進し、新しい思考の基準を打ち立てている。

顧客満足と品質向上への取り組み

ABE & PARTNERS は、常にクライアントの満足を第一に考え、卓越した評判を築き上げてきた。クライアントのビジネスゴールを理解し、そのニーズに合わせた最善策を提供することに重点を置いている。創造的でカスタマイズされたソリューションを提供することで、ABE & PARTNERS は常にクライアントの期待を超えて、リーガルイノベーションを推進している。

クライアントからは、その品質とスピードが高く評価されており、卓越した成果をもたらすという点で、欧米のトップファームに匹敵するとされている。卓越性へのこだわりにより、当事務所は、高度な法的代理業務を求めるクライアントから、頼もしいパートナーとして支持され続けている。

法曹界におけるイノベーションのパイオニア

阿部弁護士が知的財産法の未開拓の可能性を見出し、ABE & PARTNERS を率いるに至ったその経歴は、法律の革新に対する彼の先見性のあるアプローチを端的に表している。画期的な案件、国際的な専門知識、そして知的財産法の進歩への取り組みを通じて、複雑な法律の分野をナビゲートするリーダーとしての地位を確立している。

ABE & PARTNERS は、阿部弁護士のリーダーシップのもと、知的財産権とその他の法律分野とのバランスを取りながら、クライアントの多様なニーズに応え、成長を続けている。法的枠組みの未来を形作るというビジョンと、限界に挑戦する情熱を持つ阿部弁護士は、ダイナミックな知的財産法の世界において、依然として先駆者であり続ける。ABE & PARTNERS は、その発展とともに、グローバルな法律分野における新たな標準を打ち立て、さらに高い目標を追求し続けていく。